

わたしたちの鹿児島、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

» 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産に登録された奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことと十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防 3 原則



» 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するため防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。



本県の外来種の詳しい情報については！

鹿児島県 外来種

Q 検索

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



鹿児島県にお住まいの方向け

ホテイアオイ 防除マニュアル

→ ホテイアオイは、「指定外来動植物による鹿児島の生態系に係る被害の防止に関する条例」で指定外来動植物に指定されています。



ホテイアオイってこんな植物



ホテイアオイ (ウォーターヒヤシンス)

ミズアオイ科ホテイアオイ属 ▶ 南アメリカ原産

学名 : *Eichhornia crassipes*

環境省カテゴリー : 重点対策外来種

鹿児島県カテゴリー : 緊急防除種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花												
クローン繁殖												
抜き取り												



浮遊植物で常緑の多年草です。草丈は10~80cmです。溜池やダム湖などの流れのない場所に大繁茂することがあります。



葉は卵心形~円心形で柄の部分を含めて、長さ50~100cm、幅20~40cmになります。光沢があり、薄いまだら模様があります。葉柄はふくらんで浮き袋になります。



水中に垂れる根は黒紫色で長く、根毛が良く発達します。



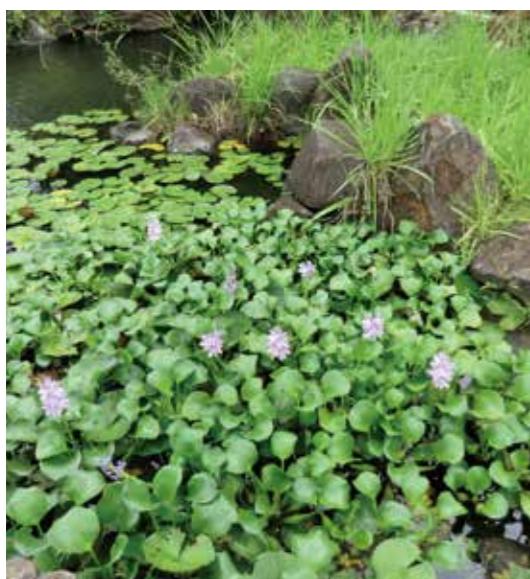
花期は6~10月。株から飛び出るように淡紫色の多数の花をつけます。花が美しいため、観光地になっている場所もあります。



種子をつけることはほとんどありません。匍匐(ほふく)する茎を伸ばし、子株を次々につくり大群生します。特に春季~秋季にかけて繁殖します。



野外への放出や遺棄などの行為は行わないでください。



ホテイアオイによる影響

在来植物との競合や水面下を被陰することによる生態系への影響があります。また、通水障害や船の通行を妨害したりします。

密集して生育するホテイアオイ→



ホテイアオイの防除方法

ここを
チェック!

主な生育地 湖沼、溜池、河川、水路、水田

抜き取り

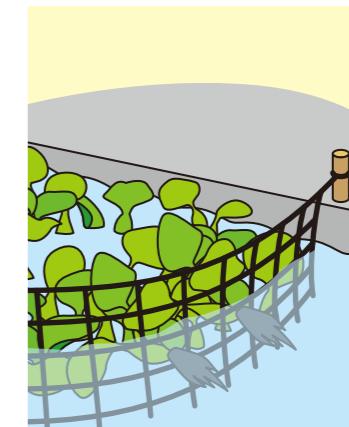
時期 ● 冬季

除去方法

越冬株の抜き取りによる防除を行います。防除直後の茎には再生能力があるため、飛散しないように厚手のビニール袋に詰める。また、水を含むと非常に重く、重機等を必要とする場合があります。



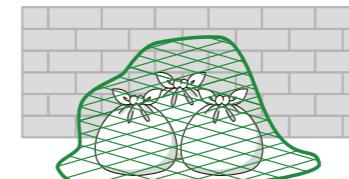
人力での引き上げ



ワイヤーメッシュによる回収

下流への拡散を防ぐために 下流域に網を張りましょう

廃棄方法



天日で乾燥後、燃えるゴミに出します。

※詳しくは各自治体のゴミの収集・分別ルールをご確認ください。

根絶までの流れ

防除を行った場所を確認し、再生が確認されれば、再度防除を行いましょう。また、下流域に拡散している可能性があるので、下流域も確認を行い、防除を行いましょう。一度確認されなくとも数年間は確認を続けましょう。